

事務事業 事後評価シート（令和4年度実施事業）

事務事業名	観光施設管理事業				事業通番	4347
					開始年度	令和3年度
総合計画体系	政策No.	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	終了年度	--
	施策No.	4-3	施策名	観光の振興	担当課名	産業振興課
予算科目	会計	一般会計		款	商工費	
	項	商工費		目	観光費	
					担当係名	商工観光係
					重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町インフォメーションセンター条例 会津美里町雀林観光休憩所設置条例					
事務事業の概要	観光客が快適に利用できるように観光施設（トイレ、休憩所、インフォメーションセンター）の維持管理を適切に行う。					
対象（誰、何を）	観光施設の利用者					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	適切な施設の維持管理とサービスの向上により、利用者の増加を図る。					
成果の考え方	高田及び本郷インフォメーションセンターの利用者を把握することで、適切な管理やサービス向上の成果と捉え、Aの指標を設定する。					
【成果指標】					単位	
A	高田、本郷インフォメーションセンター利用者数（前年度（4～3月）入込数実績+5%を目標）					人
B	-					-

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	18,807	17,253			
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他		741			
一般財源	18,807	16,512			

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
	A	23,784	26,288		
B	-	-			

(3) 活動実績及び成果

活動実績	施設の維持管理を滞りなく実施できた。
成果	施設が適切に維持管理された。

3. 最終評価

成果の方向性	拡充	(理由) アフターコロナによる観光客の増加が見込まれるため。
コストの方向性	縮小	(理由) 旧高田温泉あやめの湯について、新たな利活用方針が決定するまでは最低限の維持経費にて管理を行っていく。
今後の方向性	協働化改善	(理由) 観光の拠点施設として、来客者の利便性、快適性を追求した維持管理が必要である。

事務事業 事後評価シート（令和4年度実施事業）

事務事業名	観光誘客事業				事業通番	4351
					開始年度	令和3年度
総合計画体系	政策No.	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	終了年度	--
	施策No.	4-3	施策名	観光の振興	担当課名	産業振興課
予算科目	会計	一般会計		款	商工費	
	項	商工費		目	観光費	
					担当係名	商工観光係
					重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町観光振興計画					
事務事業の概要	会津美里町観光振興計画の各種施策の実現に向け、県や近隣市町村と連携して、町の特産品や観光をPRし誘客促進を図る。					
対象（誰、何を）	観光客					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	関係機関と連携しながら、町の観光資源などの情報を積極的に発信することや観光客受入環境の整備により誘客を図ること、観光客がその情報を入手し来訪する。					
成果の考え方	A：会津美里町観光振興計画による。令和7年度目標値：17,000万円 町内の主要な観光施設や宿泊施設への聞き取りにより把握する。 B：会津美里町観光振興計画による。令和7年度目標値：16,600人 数値は、町内宿泊施設への聞き取りにより把握する。					
【成果指標】						単位
A 観光消費額						万円
B 町内施設宿泊者数						人

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	8,809	12,929			
国庫支出金		3,985			
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	8,809	8,944			

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	16,720	16,850			
	4,680	9,256			
B	16,400	16,450			
	9,879	12,285			

(3) 活動実績及び成果

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・極上の会津プロジェクトなど、広域連携の協議会に参加した。 ・Instagram「#会津美里の日々」の投稿数が増えるよう広報への記事の掲載や「ポケふた」の設置等を行った。 ・会津美里町観光大使を4名委嘱した。 ・福島再生加速化交付金制度を活用し、人気ゲームと連携した向羽黒山城跡専用サイトを構築した。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・広域で連携することで、より効果的なPR活動が実施できた。 ・Instagram「#会津美里の日々」の投稿数を8,084件まで増加させることができた。 ・会津美里町観光大使を4名委嘱し、新聞にも掲載されるなど広く会津美里町を周知するきっかけを作ることが出来た。 ・人気ゲームと連携したことで、ゲームファンに向けて効果的に向羽黒山城跡のPRができた。

3. 最終評価

成果の方向性	拡充	(理由) 観光需要を呼び込むうえで、成果の拡充が必要であるため。
コストの方向性	拡大	(理由) ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた誘客事業の拡充が必要であるため。
今後の方向性	有効性改善	(理由) 観光需要の回復を見込んだ事業展開が必要である。

事務事業 事後評価シート（令和4年度実施事業）

事務事業名	観光対策事業				事業通番	4358
					開始年度	令和3年度
総合計画体系	政策No.	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	終了年度	--
	施策No.	4-3	施策名	観光の振興	担当課名	産業振興課
予算科目	会計	一般会計		款	商工費	
	項	商工費		目	観光費	
					担当係名	商工観光係
					重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町観光振興計画					
事務事業の概要	会津美里町観光振興計画の各種施策の実現に向け、観光協会が実施する各種イベントや観光ガイド活動等に補助を行うと共に、観光施設等の維持管理や観光資源の整備を行う。					
対象（誰、何を）	町民及び観光客					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	的確な情報発信を行うことで、町のイベントや観光情報を知り、入込客数が増加する。					
成果の考え方	①イベント（ふれあい茶会、あやめ祭り、せと市、ワイン祭り、大俵引き、ヒルクライム、御田植祭、秋季祭礼）の入込客数を把握することで、観光協会の情報発信等の成果と捉え、Aの指標を設定する。 ②観光ガイドの実施回数を把握することで、着地型観光の成果と捉え、Bの指標を設定する。					
【成果指標】						単位
A イベントの入込数						人
B 観光ガイド実施回数						回

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	320,347	35,273			
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他		976			
一般財源	320,347	34,297			

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	155,000	156,937			
B	1,000	105,384			
	89	85			
	14	40			

(3) 活動実績及び成果

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光協会に補助金を交付し、観光案内や情報発信、「あやめ祭り」「山城シンポジウム」「会津美里ワインフェス」「大俵引き」などのイベント実施した。 「御田植祭太鼓台」などにイベント補助金を交付した。 只見線全線開通記念に只見線をテーマにフォトコンテストを実施した。 観光施設の美化作業や土地の賃借契約等により受入体制整備を実施した。
成果	<ul style="list-style-type: none"> SNS等での発信を積極的に行った。また、3年ぶりのイベント開催などコロナ明けで前回開催時から期間を空けての開催のイベントが多く、課題も残ったが、中止とはならず、無事開催でき、観光客を呼び込むことが出来た。 御田植祭太鼓台など伝統的なイベントの維持に寄与した。 フォトコンテストは400件近く投稿があり、受賞作品でポスターを作成し、配布することで、町内外に広く只見線と町の関係性をPRできた。

3. 最終評価

成果の方向性	拡充	(理由) 入込客数を増やす取り組みの拡充が必要であるため。
コストの方向性	拡大	(理由) アフターコロナを見据えた観光振興を図るうえで、事業の多角化、拡大化は必要であるため。
今後の方向性	有効性改善	(理由) 観光対策として、誘客を図ることができるイベント事業は有効である。 従来の単発型ではなく、地域経済へ波及効果が持続していくような事業展開が必要であるため。

事務事業 事後評価シート（令和4年度実施事業）

事務事業名	温泉施設管理事業				事業通番	4362		
					開始年度	令和3年度		
総合計画体系	政策No.	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	終了年度	令和7年度		
	施策No.	4-3	施策名	観光の振興	担当課名	産業振興課		
予算科目	会計	一般会計		款	商工費		担当係名	商工観光係
	項	商工費		目	温泉施設管理費		重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町公共施設等管理総合計画、会津美里町温泉施設利活用処分方針 会津美里町温泉施設等条例						
事務事業の概要	会津美里町公共施設等総合管理計画及び会津美里町温泉施設利活用処分方針に基づき、温泉施設の民間事業者への譲渡、貸付を推進する。令和3年度においては、温泉施設等の民間譲渡を推進するが、売却が困難と判断した場合は、他の用途への変更を含め施設の利活用処分の方針を決定する。また、高田温泉あやめの湯・新鶴温泉健康センター・ほっとぴあ新鶴については、引き続き指定管理制度により運営する。						
対象（誰、何を）	町が所有する温泉施設及び宿泊施設(高田温泉あやめの湯、新鶴温泉健康センター及びほっとぴあ新鶴)						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	① 民間事業者に譲渡する。 ② 民間譲渡が困難な場合は、温泉施設等の用途廃止後の施設の利活用処分を決定する。 ③ 適切な施設の維持管理とサービスの向上により、利用者の減少に歯止めをかける。						
成果の考え方	① 民間事業者への譲渡を行う。また、譲渡ができない施設は温泉機能廃止後の利活用処分方針を決定することが、町温泉施設利活用処分方針の目標であるため。 ② 適切な施設の維持管理とサービスの向上による利用者数の満足度の向上につながるため。						
【成果指標】							単位
A	利活用処分が実現できた施設数						施設
B	温泉施設の利用者数						人

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	97,905	96,731			
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	97,905	96,731			

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	3	3			
	1	3			
B	158,000	158,000			
	146,355	178,158			

(3) 活動実績及び成果

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 温泉施設等の指定管理委託料として、77,440,000円を支出した。 新鶴温泉健康センター及び宿泊研修施設ほっとぴあ新鶴の維持改修工事を6箇所実施した。 新鶴温泉健康センター及び宿泊研修施設ほっとぴあ新鶴の民間譲渡に取組んだ。 高田温泉あやめの湯の廃止に取組んだ。
成果	<ul style="list-style-type: none"> 新鶴温泉健康センター及び宿泊研修施設ほっとぴあ新鶴を民間企業に譲渡した。 高田温泉あやめの湯は、温泉の枯渇により年度末をもって廃止した。 新鶴温泉等については民間企業により温泉施設等の継続が実現できた。

3. 最終評価

成果の方向性	休業止	(理由) R5.3.31で用途廃止のため。
コストの方向性	皆減	(理由) R5.3.31で用途廃止のため。
今後の方向性	廃止・民営化	(理由) 令和4年度をもって、町営温泉施設等のすべての利活用処分が決定した。本郷温泉湯陶里、新鶴温泉健康センター及び宿泊研修施設ほっとぴあ新鶴は民間譲渡を実現し、温泉が枯渇した高田温泉あやめの湯は廃止となった。本事業の目的である町民の福祉の向上と健康増進については、民間事業者との連携により取り組む。

事務事業 事後評価シート（令和4年度実施事業）

事務事業名	観光まちづくり推進事業				事業通番	14393
					開始年度	平成27年度
総合計画体系	政策No.	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	終了年度	令和7年度
	施策No.	4-3	施策名	観光の振興	担当課名	産業振興課
予算科目	会計	一般会計		款	商工費	
	項	商工費		目	観光費	
					担当係名	商工観光係
					重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町観光振興計画 会津美里町観光振興計画アクションプラン					
事務事業の概要	令和2年度に平成27年度に策定した会津美里町観光振興計画及び平成28年度に作成したアクションプランの改定を行った。その後期観光振興計画及び後期アクションプランの各種施策の実現に向け、各種施策の実現に向け、既存組織や住民の協働による観光を通じた地域づくりを行うとともに、町の観光の推進体制を構築するため、事業を展開していく。					
対象（誰、何を）	観光客					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	入込数の増加及び、町内での飲食や宿泊、買い物等により消費額拡大を図る。					
成果の考え方	会津美里町後期観光振興計画では、「一人当たりの観光消費額」と「観光施設における観光入込客数」を全体目標に掲げているため、以下の2つを成果として設定する。 A：主な観光関連施設から入込数や売上額等のデータを集計し、観光消費額を把握する。 B：観光施設における入込客数（寺社参拝者、温泉施設等、観光消費額が発生しない施設を除く）を集計し、消費額の動向を把握する。					
【成果指標】						単位
A 一人当たりの観光消費額						円
B 観光施設における入込客数						万人

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	3,117	3,180			
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	3,117	3,180			

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	2,811	2,881			
	3,975	2,935			
B	5.3	5.3			
	1.1	3.2			

(3) 活動実績及び成果

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光まちづくり推進協議会を2回開催した。後期観光振興計画の進捗と成果を確認しながら、今後の進むべき方向性を協議した。 観光まちづくり推進事業補助金を2団体に交付した。
成果	アフターコロナを見据えた後期観光振興計画の進捗を協議し、今後の方向性を決定した。また、観光まちづくりを推進する団体を支援し、新たな観光資源として、宮川千本桜ライトアップや本郷地域のフリースペースコバコの創出に寄与した。

3. 最終評価

成果の方向性	現状維持	(理由) 観光振興は一朝一夕では達成できないため、目標をあまり大きく設定せず、順を追っての育成を継続する必要があるため。
コストの方向性	現状維持	(理由) 大きなコストを投入する体制もできていないため、現状維持よりやや増が最適であるため。
今後の方向性	現状維持	(理由) 目標を大きく設定せず、達成可能な目標をから取り組みを継続していく。そのためには、運営するプレーヤーとなる人材育成を重点的に進めていく。